

## 平成 20 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

### 2 水源環境の保全に関する研究

テーマ 1 相模湖・津久井湖の水質汚濁の実態解明

テーマ 2 水源河川における生物多様性の解明

テーマ 3 大気環境に係る丹沢ブナ林の保全に関する研究

#### [総合評価とコメント]

- 相模湖・津久井湖は県内の重要な水源であり、その環境保全は県民の健康にも直接関わる問題といえる。しかし、水源環境としては必ずしも良好とはいえない状態が継続しており、その対策は重要な行政課題となっている。  
本研究課題は、流入負荷量の把握、生物多様性の検証、水源林への大気負荷の影響の3つの切り口からこの課題に取り組もうとするもので、大変意欲的な取り組みといえる。それだけに多くの人員が割かれており、さらに県民参加型の計画にもなっていると理解できる。またそれぞれのサブテーマごとに、成果が着実に上がってきていることも評価できる。一方で、3つのサブテーマを通じた総括的な結論を得ようとするのではないということであるが、1つの研究課題という扱いではなく、1つの分野の中の3つの課題として扱うのが適切ではないかという疑問もないとはいえない面があり、センター全体の運営方針とも絡むので、別途検討されることを期待したい。
- テーマ1に関しては、上流に位置する山梨県との連携も必要である。今後、この点も視野に入れて研究を発展させることが汚濁対策を推進するうえでも近道ではないだろうか？ 神奈川県所属のセンターとして対応が難しいところがあるかもしれないが、ぜひご検討いただきたい。  
テーマ2は、一般の人にもわかりやすい指標を取り上げている。期間を限定した研究としてだけでなく、県民参加型モニタリングとして定着すれば、貴重なデータが蓄積されるのに加え、県民の環境意識の高揚にもつながると期待できる。  
テーマ3は、ブナ林衰退の機構をオゾンの動態との関連から解明しようとする研究である。今後、すでに明らかとなっている水分ストレスや虫害といった他の要因と比較して、どの要因の緩和がブナ林保全にもっとも効果的かを示すことができれば、施策にも生かされることと思う。
- 県民参加型モニタリングを積極的に推進していただきたい。
- テーマ1に関し、相模湖・津久井湖のアオコ発生は、流入河川の窒素・リン負荷の多くが自然発生減由来であることがわかってきた。流入負荷低減対策が極めて困難と考えられる。アオコ発生阻害については、神奈川県に限らず各地で過去に様々な技術の評価が行われてきたと思うが、比較評価は実施したのか。  
テーマ2については、河川モニタリング調査への県民参加による意識向上を進めてもらいたい。  
テーマ3に関し、ブナ林保全対策、基礎的なデータの蓄積は評価できる。しかし、対策手法開発に至るまでには、長期間要するであろう。マイルストーンの設定などを工夫して継続してほしい。
- テーマ1：県民の水源となる湖の汚染原因を解明することは重要であるが、すっきりと究明するには、時間もかかり、なかなか困難な点も多いと思われる。原因究明と並行して、水生植物による汚染の除去など、対処の方策について検討しておくのが良いのではないと思われる。  
テーマ2：河川における自然環境の保全の上から大変重要なテーマであると考えられる。短期的には結果のばらつきも予測されるので、長期的に見た総合的な評価が望まれる。研究結果をできるだけわかりやすく効果的な形で公表されるよう工夫が期待される。  
テーマ3：ブナ林の衰退にオゾンが絡んでいるのは確かなようだが、ブナ林の衰退の機構は非

常に複雑と思われる。解明が望まれるが、同時に5番目のテーマ「光化学オキシダント高濃度の発生原因の解明」と関連して、丹沢でのオゾンがどこから来るのかの解明が待たれる。

- 相模湖・津久井湖、相模川・酒匂川、また、丹沢ブナ林などの神奈川県としての重要な環境フィールドを対象とする意義ある研究と考えられる。

一方、これまでも研究対象としてきた実績があるわけであり、それらをいかに活用し効率的に高度な研究を遂行するかは、課題の一つと言えよう。

**(数値的評価)**

★評価者6名

〈評価の内容〉	〈評価項目〉	〈ランク〉					
課題設定の妥当性	○背景と必要性	5 (3人)	4 (3人)	3 (0人)	2 (0人)	1 (0人)	
	○優先性	5 (4人)	4 (1人)	3 (1人)	2 (0人)	1 (0人)	
計画の立案と実施方法	○研究内容	5 (2人)	4 (2人)	3 (2人)	2 (0人)	1 (0人)	
	○計画の妥当性	5 (0人)	4 (5人)	3 (1人)	2 (0人)	1 (0人)	
研究の進捗状況	○進捗状況	5 (0人)	4 (4人)	3 (2人)	2 (0人)	1 (0人)	

※ランクは、5点満点の評価で5（優）～1（劣）